

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	家庭教育事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	06	05	07
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	鶴巻 浩二				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	子育て中の保護者	意図	小中学校、地域との連携により、家庭教育に関する学習機会を提供。
事業内容	市内各小中学校及びPTAとの協働による「家庭教育講座」を開設するほか、子どもの健全な成長を支援する講座や講演会、子育て中の親が子連れで生の音楽を楽しめるコンサートなどを広く実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	近年、薬物やネット犯罪の被害が低年齢化し、子どもによる凶悪な犯罪も増加傾向にある。子どもの健全な成長を支援するために、家庭、学校、地域の連携が求められる。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	講座開催回数	228	137	137	回	→→	「家庭教育講座」や「子育てママのセミナー」など
②	講座受講者数	11,682	8,542	9,693	人	→→	「家庭教育講座」や「子育てママのセミナー」など	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果	年3回実施している子育てコンサートは、親子などから高い評価を受けている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・市内各小中学校及びPTAとの協働により、親のあり方や成長期の子どものかかわり方、ケータイ・スマホとのつき合い方、命の大切さ等をテーマとした「家庭教育講座」を、各学校あるいは地域別に実施した。 ・乳幼児期の家庭教育では、「子育てコンサート」を年3回実施。 また、0歳児とその母親を対象として「子育てママのセミナー」を各公民館等で1会場各3回実施。（市内6会場）			
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,034,387	6,391,260	6,985,394				
事業費(b)(円)		728,787	845,660	926,394				
うち一般財源		728,787	845,660	926,394				
職員給与費(c)(円)		6,305,600	5,545,600	6,059,000				
人役・職員(人)		0.60	0.50	0.50				
人役・再任用(人)		0.20	0.20	0.20				
人役・臨職(人)		1.50	1.50	2.00				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	「家庭教育講座」をより効果的なものにするため、各校のニーズに合った内容で実施するよう、学校、PTAと連携をしながら進めていく。	③取組における課題(Check)	「家庭教育講座」は、参加者が限定しがちである。
②H30に実施した取組(Do)	・小中学校、PTAとの協働による「家庭教育講座」を、学校単独、地区合同等により、計23回実施した。 ・0歳児を持つ保護者を対象に「子育てママのセミナー」を市内6会場で実施。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	「家庭教育講座」をより効果的なものにするため、各校のニーズに合った内容で実施するよう、学校、PTAと連携をしながら進めていく。